

2017年8月号

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

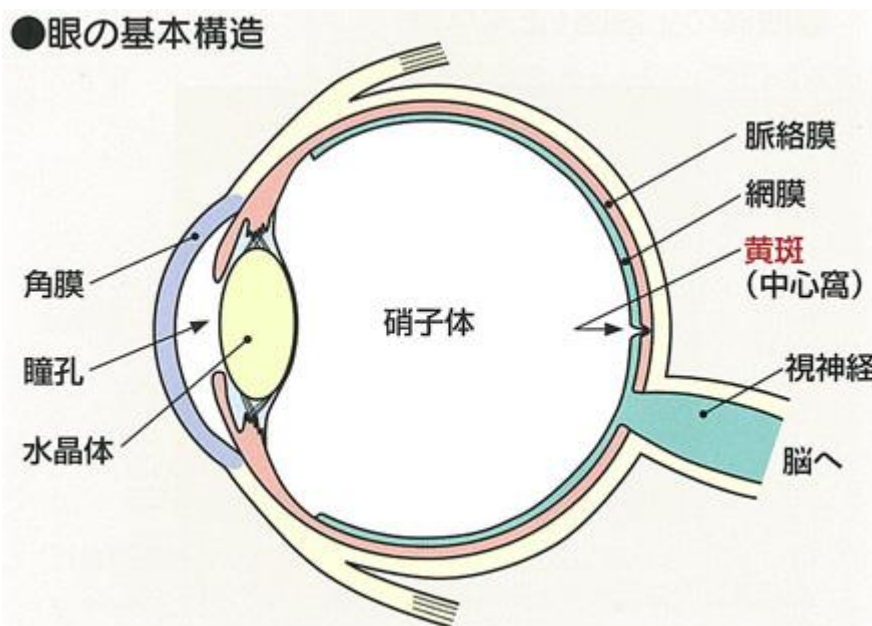
「透析患者さんの眼疾患について」

偕行会城西病院 眼科 三井 あや

<はじめに>

日本透析医学会の統計調査によると、2015年12月時点で、国内で透析療法を受けている患者数は約32万5千人で、前年度より約5千人増加しました。透析の導入患者の原疾患の第1位は糖尿病性腎症で43.7%に上ります。

透析患者さんにおこりやすくなる目の病気は、目の表面の角膜や結膜から眼底まで様々な病気がありますが、今回は新しい治療、抗VEGF(ブイイージーエフ)薬治療法を絡めて眼底の病気のお話をします。



黄斑 : 視力に大きく影響する網膜の中心部分

<網膜静脈閉塞症>

透析を続けることで、網膜では細動脈硬化が進行します。その結果、網膜静脈が詰まる網膜静脈閉塞症が起こることがあります。網膜静脈が詰まると静脈の圧力が上がり、網膜の血管が広がったり、蛇行したり、出血したりします。ま